



2学年 SSH コース生徒海外研修から無事帰国 五感を研ぎ澄まして研修してきました!!



Global Positioning System で観測機器の較正の重要性を学びました(Photo by E. Sparrow)



E.Sparrow 先生の講義を受講する生徒諸君 (Photo by Christine Butcher)



アラスカ大学博物館にてアラスカの自然、民族、日本との関わりの展示を見学

校長が五感を研ぎ澄ましていろいろな体験をしてくるとの饒別の言葉をくれたそうですが、期待以上に、生徒諸君は、いろいろな経験をすることができたようです。

「私たちのつたない英語による質問にも先生方が丁寧に答えてくださり、感激しました」「誰も体調を崩すことなく、みんな無事に帰ってくることが出来ました。オーロラは結局1日目に少ししか見ることができませんでした。大学の講義などをお聞きしたり、アメリカで実際に買い物をしたり、とても充実したアラスカ研修でした」「無事に日本、そして家に帰ってくることが出来ました。先生方の多大な指導やアドバイスを本当に感謝しなければならぬと実感しています。本当にありがとうございました。」「一生の思い出になりました。」「赤祖父先生に感謝!」

アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センターの ウェブページに紹介されました!

アラスカ大学フェアバンクス校国際北極圏研究センターのウェブページに「Japanese High School Students Explore Science with IARC Researchers」というタイトルで紹介されました!



IARC's Molly Tedesche listens to a student's question. (Photo by Y. Bult-Itto)

本校の生徒 31 名が国際北極圏研究センター (IARC) を訪問させていただき、北極圏の科学について 3 日間にわたり講義を受けたことを紹介していただきました。

アラスカ大学の研究者の方々が、北極圏に気象、オーロラボレアリス、永久凍土、アラスカの火山、そして科学実験の基本的な手法についてなど多彩な講義をスライド、実習や実験を通して実施していただいたことが紹介されています。また、本校生徒が、北極圏の科学について熱心に学習しており、一所懸命英語を使って先生方に講義内容について沢山の質問をしたことが紹介されています。

本校の海外科学セミナー (アラスカ研修) は平成 17 年度から始まり本年度で 10 回目を迎えることができました。この研修の実施に当たっては、アラスカ大学フェアバンクス校のオーロラ研究の世界的権威である赤祖父俊一名誉教授から多大な支援をいただいています。今年度の研修においても、3 日間 12 時間余りにわたる 8 名の北極圏の研究者による講義を設定していただきました。また、本校生徒の課題探究の英語による発表会にも大学関係者が参加していただけるよう準備していただきました。



来年度も本校海外科学セミナーでお世話になる予定です。